

調査の概要

調査方法

第1回調査は1987年(昭和62年)に全国から無作為抽出された60歳以上の方を対象におこない、その後、新しい対象者を加えながら3年ごとに実施してきました。1999年(平成11年)には、過去4回のいずれかの調査にご協力いただいた方と、新たに加わった70歳以上の方を対象として調査し、3,482人(回収率74%)の方にご協力いただきました。さらに、2002年(平成14年)には、1999年からの参加者を含む過去5回のいずれかの調査にご協力いただいた方(66歳～)を対象とし、2,825人(回収率73%)にご協力いただきました。いずれも調査の実施は社団法人中央調査社に委託し、10月～12月に訪問面接法でおこないました。

研究組織 (2002年調査実施メンバー)

【東京都老人総合研究所】

小林 江里香
杉原 陽子
深谷 太郎
原田 謙

【ミシガン大学 (University of Michigan)】

ジャーシー・リヤン (Jersey Liang)
ニール・クラウス (Neal Krause)
ジョアン・ベネット (Joan M. Bennett)
倉本 尚美

【東京大学】

秋山 弘子*1
金児 恵*2
水野-島谷 いずみ*2

*1ミシガン大学客員研究員

*2東京都老人総合研究所非常勤研究員

【その他の共同研究者】

直井 道子 (東京学芸大学)
杉澤 秀博 (桜美林大学)
柴田 博 (桜美林大学)
木村 好美 (大阪市立大学)
山田 篤裕 (慶應義塾大学)
金 恵京 (韓国・湖西大学校)
西村 昌記 (ダイヤ高齢社会研究財団)

2002年の調査実施にあたり、厚生労働科学研究費補助金(研究代表:秋山弘子、H14-政策-007)、および米国国立老化研究所(National Institute on Aging)の研究助成(研究代表:Jersey Liang、R37-AG154124)を受けました。

R50

古紙配合率50%再生紙を使用しています

2004年3月発行

高齢者の健康と生活2

「長寿社会における暮らし方の調査」1999年、2002年調査の結果報告

編集・発行 / (財)東京都高齢者研究・福祉振興財団

東京都老人総合研究所 社会参加・介護基盤研究グループ

〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

☎03-3964-3241(代表)

デザイン / 松下 園子 〒140-0003 東京都品川区八潮5-6-32-1205 ☎03-3790-3757

印刷 / (有)ストリームス 〒112-0005 東京都文京区水道2-6-4 S-BOX ☎03-5977-2821